



第5回雲仙市産業まつり
(ハマチのつかみどり)

議長・副議長就任挨拶



井上武久議長



森山繁一副議長

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、平素より市政及び市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび私たちは、平成23年第2回臨時会において、議長並びに副議長に就任致しました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重大さを痛感いたしている次第でございます。

本市において、少子高齢化の進展の中で、財政の安定化をはじめ、さまざまな課題が山積しております。

議会といたしましても、これらの課題に鋭意取り組み、議会改革、活性化に努め、雲仙市の更なる発展のために邁進していく所存でございます。

皆様方には、今後とも市議会の活動について、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

平成23年第2回臨時会の概要

平成23年11月25日に臨時会が開催され、平成23年第3回定例会において継続審査としておりました議案について、採決が行われました。議決結果は次のとおりです。(議案第60号は11月25日に提案)

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 |
|-------|--|------|
| 第1号 | 平成22年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 第2号 | 平成22年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 第3号 | 平成22年度雲仙市老人保険特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 第4号 | 平成22年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 第5号 | 平成22年度雲仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 第6号 | 平成22年度雲仙市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 第7号 | 平成22年度雲仙市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 第8号 | 平成22年度雲仙市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 第9号 | 平成22年度雲仙市温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 第10号 | 平成22年度雲仙市水道事業会計決算認定について | 認定 |
| 第50号 | 損害賠償の額の決定及び和解について | 原案可決 |
| 第60号 | 監査委員の選任について | 原案可決 |
| 請願第2号 | 請願書(旧吾妻町特定環境保全公共下水道事業における処理場用地受入れ同意に関連する地域振興策について) | 採択 |

産業建設常任委員会委員長報告骨子

○議案第50号 損害賠償の額の決定及び和解について

職員の事務処理の瑕疵に起因して発生した事件について、第三者による求償等調査委員会の調査結果が提出されました。調査結果の概要は次のとおりです。

①市が被った損害額

市は申請者に対し、損害賠償することで補助金交付を免れる(損益相殺)と解し、実損害額は本来国庫より受けることができた補助金相当額と判断。

②関係職員の責任

- ・元課長補佐、元課長は重大な過失と認め賠償する義務を負う。
- ・部長は、過失はあるものの重大な過失と認められないため賠償する義務は負わない。(市の責任とする)
- ・市長、副市長は、重大な過失は認められない。

③雲仙市の対応

- ・市が補助申請者へ支払う損害賠償額 9,541,000円
- ・2名の職員へ求める求償額 3,089,600円
- ・本部長から申し出の弁済額 772,400円
- ・市長、両副市長の退職金で相殺する額 6,110,680円※

※求償等委員会(弁護士3人による)に要した費用431,680円を含む

新しい議会構成がきました

産業建設常任委員会

| | | | | |
|-----|---|-----|---|---|
| 委員 | 長 | 小畑 | 吉 | 時 |
| 副委員 | 長 | 大久保 | 正 | 美 |
| 委員 | 員 | 森山 | 繁 | 一 |
| 委員 | 員 | 石田 | 徳 | 春 |
| 委員 | 員 | 中村 | | 勲 |
| 委員 | 員 | 岩下 | 康 | 勝 |
| 委員 | 員 | 前川 | 弘 | 治 |
| 委員 | 員 | 町田 | | 則 |
| 委員 | 員 | 坂本 | | 樹 |

【所管事項】

総務部(管財課(契約班に限る。))及び工事検査室に限る。)、観光物産まちづくり推進本部、農林水産商工部(農林水産課(新と畜場対策班に限る)を除く。))建設整備部及び農業委員会

総務常任委員会

| | | | | |
|-----|---|----|---|---|
| 委員 | 長 | 小田 | 孝 | 明 |
| 副委員 | 長 | 元村 | 康 | 一 |
| 委員 | 員 | 中福 | 一 | 明 |
| 委員 | 員 | 柴田 | 大 | 東 |
| 委員 | 員 | 上田 | 安 | 宣 |
| 委員 | 員 | 久保 | | 篤 |
| 委員 | 員 | 大川 | 信 | 一 |
| 委員 | 員 | 浦川 | 康 | 二 |

【所管事項】

政策企画課、総務部(管財課(契約班に限る。))及び工事検査室を除く。)、市民生活部(市民窓口課(国保年金班及び長寿医療班に限る。))、健康づくり課及び環境政策課を除く。)、各総合支所、会計課、選挙管理委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会、その他の委員会に属しない事項

議会運営委員会

| | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|
| 委員 | 長 | 元 | 村 | 康 | 一 |
| 副委員 | 長 | 松 | 尾 | 文 | 昭 |
| 委員 | 員 | 森 | 山 | 繁 | 一 |
| 委員 | 員 | 町 | 田 | | 誠 |
| 委員 | 員 | 小 | 田 | 孝 | 明 |
| 委員 | 員 | 前 | 畑 | 吉 | 時 |
| 委員 | 員 | | 川 | | 治 |

【所管事項】

- ・議会の運営に関すること
- ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること
- ・議長の諮問に関すること

文教厚生常任委員会

| | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| 委員 | 長 | 町 | 田 | 誠 |
| 副委員 | 長 | 深 | 堀 | 彰 |
| 委員 | 員 | 井 | 上 | 久 |
| 委員 | 員 | 岩 | 永 | 和 |
| 委員 | 員 | 松 | 尾 | 昭 |
| 委員 | 員 | 前 | 田 | 哲 |
| 委員 | 員 | 平 | 野 | 和 |
| 委員 | 員 | 酒 | 井 | 二 |
| 委員 | 員 | 林 | 田 | 幸 |

【所管事項】

市民生活部(市民窓口課(国保年金班及び長寿医療班に限る。))、税務課(総務国保税班に限る。))、健康づくり課、環境政策課に限る。)、市民福祉部、農林水産商工部(農林水産課(新と畜場対策班に限る。))に限る。))及び教育委員会

一部事務組合議会議員等の構成

| | |
|----------------|---------------------------------|
| 県央地域広域市町村圏組合 | 井上 武久 小田 孝明 |
| 島原地域広域市町村圏組合 | 井上 武久 森山 繁一 石田 徳春 前田 哲 浦川 康二 |
| 雲仙・南島原保健組合 | 井上 武久 森山 繁一 中村 勲 町田 誠 元村 康一 |
| 南高北部環境衛生組合 | 井上 武久 大久保信一 平野 利和 坂本 弘樹 |
| 県央県南広域環境組合 | 柴田 安宣 町田 康則 上田 篤 |
| 長崎県後期高齢者医療広域連合 | 深堀 善彰 |
| 長崎県病院企業団 | 森山 繁一 |
| 雲仙市農業委員会委員 | 岩永 基和 岩下 勝 大久保信一 |
| 雲仙市監査委員 | 福田 大東 |

〒850-0107 長崎県雲仙市西妻町牛口名1-4 ☎0958-33-3111 FAX0958-33-3111 E-MAIL info-unzen@city.unzen.nagasaki.jp
 〒850-0107 長崎県雲仙市西妻町牛口名1-4 ☎0958-33-3111 FAX0958-33-3111 E-MAIL info-unzen@city.unzen.nagasaki.jp
 〒850-0107 長崎県雲仙市西妻町牛口名1-4 ☎0958-33-3111 FAX0958-33-3111 E-MAIL info-unzen@city.unzen.nagasaki.jp



議会広報編集特別委員会

- 委員長 上田 篤
- 副委員長 浦川 康二
- 委員 中村 一明
- 委員 岩下 勝
- 委員 町田 康則
- 委員 平野 利和
- 委員 酒井 恭二
- 委員 坂本 弘樹
- 委員 林田 幸

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
 議会広報委員会が2年の任期を終え、新体制になりました。とは言っても、9人中7人が再任で、新しく替わったのは2人です。なかなかたいへんな仕事を、あえて再び引き受けた委員に敬意の拍手と、新メンバーには歓迎のエールを送りたいと思います。

私自身も再任ですが、前期に貴重な予算をつかつての研修も受けさせてもらいましたので、それを活かして一歩いや半歩でも進んだ「議会だより」がつくれればと考えています。「議会だより」のいちばんの基本は、市民と議会とをつなぐパイプとしての役割ではないでしょうか。自分がかかわったこれまでを振り返れば、議会からの一方通行になっていた面もあったのではないかと反省しています。新体制になったことを機に、ぜひとも市民の率直な声、思いがくみ取れるような誌面にしたいものです。
 みなさんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

上田 篤